

学校保健論		講義	非常勤講師	新井 淑弘
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの専門 選択科目、スポーツトレーナーコー スの専門選択科目 教職科目 柔道整復師コースの専門基礎科目 教職科目 救急救命士コースの専門基礎分野科 目 教職科目	科目ナンバリング		11322206 11531204 12332203 12531207 13332201 13531204

1. 授業のねらい・概要

学校教育目標の具現化としての学校保健の位置づけを理解し、学校保健の実践が児童生徒の発達にどのような役割を担っているかを学ぶ。学校保健の意義と目的、行政と学校保健、法規に基づく学校保健の内容と組織、保健主事や養護教諭等の関係職員の役割などについて具体的な実践例をととして学習する。

2. 授業の進め方

主に講義形式で授業を進めます。授業の始めに前回の振り返りを行った後に、今回の授業概要について説明を行う。授業内容によっては、調べ学習や、題学習等の形式でも授業を行う。授業の最後に次回の内容と準備についての説明を行う。

3. 授業計画

1. 学校保健の理念と目的，学校保健の構成	9. 学校保健活動の実際(小・中学校・高校・養護学校)
2. 学校保健計画と評価，学校保健と関係職員	10. 学校環境衛生とその評価および改善
3. 子どもの発育・発達と学校保健	11. 学校環境衛生の新たな課題
4. 学校における健康情報とその管理および利用	12. 学校災害と学校安全，セイフティープロモーション
5. 児童生徒の健康障害および伝染病の予防	13. 救急法と緊急時の体制
6. 健康障害のある児童生徒と学校生活	14. これからの教育環境と学校保健，海外の事例
7. 精神保健とがん教育	15. まとめ
8. 保健教育とヘルスプロモーション，組織活動	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各授業の最後に次回のテーマに関連した課題を出すので、受講までに準備を行うこと。また、ノート提出を行い学習状況の確認を行うので、毎回の授業内容について復習を行いながら、ノートを整理しておくこと。(2時間程度を必要とする内容)

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施後もしくはミニレポート提出後に、解答のポイント、出題意図等についての説明を行う。

6. 授業における学修の到達目標

学校保健・学校安全の目的・目標・活動の全体構成について理解し、各項目についての内容と実施について理解することを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

授業への貢献度・積極性，ミニレポートなどの平常点：20%，レポート・試験等 80%

8. テキスト・参考文献

教科書：①学校保健ハンドブック 教員養成系大学保健協議会(編) ぎょうせい

②学校保健マニュアル 衛藤隆也 南山堂

参考文献：授業の中で適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

授業後にミニレポートもしくはミニテストを行うことがあるので、毎回の授業のノートを作成して、予習や復習に活用すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。